



黒潮町区長会を組織化

合併後、統一された区長会の組織化に向け調整を図ってきましたが、6月29日の区長会にて、区長会規約の制定が承認に至り、黒潮町区長会が組織化されました。



これまでどおり、地域において区長としての役割を果たすとともに、組織として各区長が連携を取り、黒潮町の活性化に向けた取り組みに関わっていただきますので、町民の皆さんのご支援ご協力をよろしく申し上げます。

黒潮町区長会 初代役員

【会長】宮地 優典(有井川)

【副会長】森岡 健也(下田の口)

渡辺 募(大和田)
山下 鹿男(市野々川)

物資輸送・水難救助訓練

7月5日、高知県水難救済会幡東救難所主催の合同訓練が、土佐清水海上保安署・高知県・四万十市・黒潮町・黒潮消防署らの参加により入野漁港で行われました。

まず最初は、南海大地震による大津波発生後、陸からの救援物資輸送ができなくなった場合に備えた、海からの輸送訓練です。入野漁港沖合に、救援物資を積んだ巡視艇が待機。幡東水難所から出動要請を受けた漁船2隻が出港し、海上で物資の入ったダンボール箱を受け取りました。



海上で巡視艇(左)からダンボール箱5箱を受け取る漁船(右)。訓練では波もなくスムーズに引き渡してきました。



海に落ちたホエールウッチングの乗客を浮き輪で救助する訓練。乗船時は、必ず救命胴衣を着用してください。

続いて、ホエールウッチング中に海へ転落した乗客の救助と、スクリューが停止した航行不能となった船をえい航(他の船で引っ張って航行)する訓練です。救命胴衣をつけた転落者役の5人を、浮き輪とはしごで迅速に救助し、入港・救急搬送しました。その後、航行不能の船に向かって、別の船から近距離もやい銃を発射。ロープを引き渡し、無事に漁港へえい航しました。



物資輸送時の荷物の收受手順などに課題が残りましたが、日々の訓練を繰り返して、災害に備えることを確認しました。

四万十市舞台の漫画を受贈

四万十市出身の漫画家で、発行部数40万部を超えるヒット作「BTOOOM!」の作者・井上淳哉さんの漫画を、父・博之さんより寄贈していただきました。

作品は、四万十市を舞台にしたデビュー作「おとぎ奉り」新装版(DX版)。デビュー当初からこの漫画を図書館に所蔵している縁で、このたび新装版発行にあたり贈呈いただいたものです。

「おとぎ奉り」には、幡多郡各地を参考にしたと思われる風景や地名がたくさんあり、地元ならではの楽しみもあります。

大方図書館に所蔵しますので、ぜひご一読ください。



「おとぎ奉り」新装版は、全セリフを見直し、最終話には書きおろしを追加。ぜひ読み比べてみてください。